

CEM news

Church Education Ministries

教育は伝道そして伝道は教育

マタイの福音書 28章 19節～20節

哲学者ニーチェは多様化する世界観と価値観の蔓延する流れの中で、もはやキリスト教が西欧世界を支配した時代は終わったとして「神は死んだ」と宣告しました。同じように、日本のキリスト教会の指導者の中からも、日本社会の生活環境の変化、個人主義的価値観の多様化、教会学校の生徒の激減する有様を評して教会学校の時代は終わった。教会学校では教会を活性化できないという意見を聞くことができます。モチベーションが消えてしまいそうな意見ですが、それが私たちが置かれた現状だと受入れています。しかし、こうした現状の中でこそ私たちが取り組まなければならない2つの問題点について考えさせられます。

その一つは教会学校という「組織」「教育制度」「運営方法」「聖書教育の考え方」の老朽化問題です。第二次世界大戦後に欧米の福音的な教会から熟練した大勢の宣教師たちが日本に派遣されました。この人々の宣教の情熱と良き働きに支えられて、教会学校は聖書教育の普及と周辺地域への宣教の突破口としてその役目を担ってきました。この良き時代に身についた教会学校の組織や運営のあり方や教育の制度が60年以上経過した現在もまだ生き残っていることです。そのことを自分たちの問題だとして、真剣に取り組んでこなかったのです。時代の変化とともに当然のこと変わるべきものが先延ばしされたのです。教師会などで、今までのやり方を一度白紙に戻して、残すべきものと新しくすべきものに振り分ける作業を試みるのも良いでしょう。町に出て直接に子どもたちの生の意見を収集することも一案です。

次に考えてみることは、聖書教育に対する確信と信念を貫くことです。教会学校の仕組みや制度は時代とともにつねに変化し続けていくべきものですが、変化してはならないものまでこの世の流れに迎合してはなりません。それは聖書教育についての信念と確信です。マタイの福音書の最後の部分は主イエスの大宣教命令として有名な箇所ですが、主は弟子たちに宣教を命じられました。その内容は、新しい弟子を獲得することと、弟子となった人々にみことばを伝える（教える）ことでした。それが主の宣教命令です。弟子となった人々は弟子たちの教えを堅く守って生活したので教会がめざましく成長して、世界中に拡大していきました。このように伝道はみことばの宣言から始まり、みことばの教育によって人々の信仰が形成され、みことばの訓練によって主の弟子たちは整えられて全世界に遣わされて行きました。

主イエスが私たちに命じられたのは、弟子たちの教会を築き上げることです。聖霊とみことばによらなければ弟子は誕生できません。成長できません。強くなれません。主とともに生きる情熱と豊かないのちと力を得ることができません。聖書教育とは、みことばが本質として本来持っている、たましいを生み、育て、強め、霊的に高めるいのちと力を損うことなく、生徒たちにふさわしい方法で伝えることです。このように教育は伝道を目的としていなければならない、伝道は教育によって推し進められていくものです。

千里キリスト教会 牧師 徳本 篤



お知らせ

- ☆ CEM テキストを利用して
- ☆ 高校科テキストの編集について
- ☆ CEM テキストの発送について



☆ CEM テキストを利用して

先回引き続きクライストコミュニティ武庫之荘チャペル教会学校より CEM テキストを利用した感想です。

私たちクライストコミュニティ武庫之荘チャペルの教会学校では、毎週 40 名前後の子どもたちが集い、主を礼拝しています。幼稚科小学科の教材として、「スタート・ホップ・ステップ・ジャンプ」を使わせて頂いています。

3・4年クラス (男子・女子)



生徒用と教師用のテキストに従ってできることは安心であり、単元ごとの目的を明確にすることができて暗誦聖句につながります。礼拝メッセージにつながる人が多いので、より深く学べます。

聖書の知識を深めるだけでなく、行動においても神さまに従っていけるよう、子どもたちの実生活に合わせて学びをすすめていくように心がけています。生活習慣や文化の面でやや古い印象を受ける部分があるので、現代の子どもたちの生活習慣になじむよう、改正を加えてあげば嬉しいです。

5・6年クラス (男子・女子)



高学年の理解力にあったテキストだと感じています。時に理解するのに難しさを感じている様子があっても、教師用のテキストが大変役立っています。教師も学ばされています。また、テキストのイラストが今風の感じであれば嬉しいです。

各クラスで教材を中心にして、学びをすすめています。子どもたちも先生も個性豊かなメンバーで、それぞれのクラスの雰囲気も違っていますが、神さまを賛美し礼拝したい気持ちはみんな同じ。いつものお部屋で、時には公園のベンチに座って教材を開き、教会学校の時間をもっています。これからも子どもたちがより良く神さまのを知り、成長していくことができますように。「スタート・ホップ・ステップ・ジャンプ」が神さまに豊かに用いられますように。

☆ 高校科テキストの編集について

テキスト編集作業のためにお祈りいただきありがとうございます。

編集作業に集中するため、この 8 月には合宿を実施しました。作業が遅れておりますが、遅れを取り戻そうと努力しております。

主に用いられるテキストの完成のために引き続きお祈りをよろしくお祈りいたします。

☆ CEM テキストの発送について



いつも CEM テキストをご利用いただきありがとうございます。テキストの発送はご注文いただいた後の毎木曜日となっております。しかし、テキスト在庫状況により発送がご注文後の木曜日から 2 週後の木曜日になる場合がありますのでご注意ください。例：金曜日にご注文の場合次週木曜日に受付となり、在庫状況によりそれより最大 2 週間後（ご注文の金曜日からは 20 日後）の木曜日に発送となります。必要な時期をご考慮の上早めのご注文をお願いします。



尊い献金を心から感謝申し上げます。

2011 年 3 月～2011 年 8 月末

◇献金いただいた教会名 (敬称略)

尼崎キリスト教会 石橋キリスト教会および教会学校
泉北キリスト教会 総持寺キリスト教会 土山キリス

ト教会 枚方キリスト教会 平野キリスト教会 武庫川キリスト教会 星田チャペル婦人会

以上 9 教会

※CEM 献金をよろしくお祈りいたします。ご連絡いただければ郵便振り込み用紙をお送りいたします。